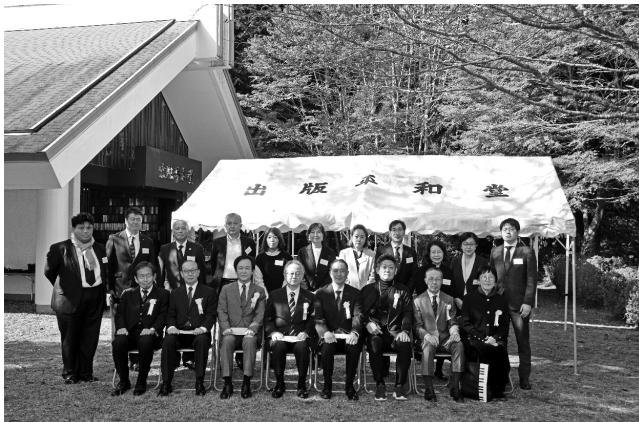


# 出版平和堂 第57回 出版功労者顕彰会 開催



10月27日（月）、「出版平和堂第57回出版功労者顕彰会」が箱根湖畔の出版平和堂で開催された。当日は天候に恵まれ、約70名の出版関係者が参集した。

顕彰会は、欠席となつた野間省伸・日本出版クラブ会長の挨拶を南條光章・出版平和堂委員長の代読で開会した。黙祷の後、宮原博昭・日本雑誌協会理事長による4名の新顕彰者名が奉告された。続いて、奥村景一・日本出版取次協会副会長による献詞、参会者による献花が行われた後、小野寺優・日本書籍出版協会理事長による感謝のことばが述べられ、顕彰会は終了した。

矢幡秀治・日本書店商組合連合会会長による献杯の発声でスタートした昼食会は最後まで和やかな会となつた。

本日は、出版平和堂第五十七回出版功労者顕彰会にご出席いたいたいた皆様に、心より感謝申し上げます。

第五十七回を迎えた出版功労者顕彰会に、新たに四名の出版功労者が加わります。明治以来、一二四二名の皆様のお名前が記銘板に刻まれ、皆様の心に深く、永くとどめられることと存じます。

本年は先の戦争の終戦から八十年となりました。出版平和堂は、一九六九年の創立以来、我が国の出版界の繁栄を築き、出版文化の発展にご尽力いたいたいた方々を顕彰し、その功績を讃えるとともに、出版を通して、平和な社会を将来にわたって守

スラエルとパレスチナの戦いも二年が経ちました。出版平和堂の前に立ち、あらためて世界が平和になることを祈るばかりであります。

この夏は観測史上最も暑い夏になりました。九月、十月も暑さが続いております。皆様夏のお疲れが出ぬようお気をつけてお過ごしください。

最後になりましたが、日頃より出版平和堂へのご協力をいただいてる箱根町行政の皆様はじめ、協力団体、関係者の皆様に心よりお礼申し上げるとともに、出版平和堂へさらなるご理解とご協力をお願ひして、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

（のま・よしのぶ）  
間省伸

## 会長あいさつ

日本出版クラブ会長

野間省伸

3F・4F  
駅クラブ

正午より  
日水

# 2026年出版関係 新年名刺交換会

出版クラブ会報  
No.631

## 主な記事

△出版平和堂 第57回 出版功労者顕彰会 開催……………一三四  
△（挨拶） 野間省伸、宮原博昭、奥村景一、小野寺優、矢幡秀治、南條光章  
△二〇二五年度出版平和堂維持会にご協賛いただいた方々……………五  
△（ひとりひとりが「生きる」みんなの世界——シェンダーリード読書——） 展を開催……………六  
△△ “マス倫懇”全国協議会第67回全国大会報告……………新妻真史、七  
△△ 『出版歳時記』もつと連携を！……………八

り続けることを誓う、出版界にとって重要な記念碑です。



〈版元関係〉

平野 明久 殿  
星雲社代表取締役社長

〈取次関係〉

森内日出美 殿  
日教販代表取締役社長

〈書店関係〉

玉山 哲 殿  
Iwakyō 代表取締役社長

（以上四名）

## 新顕彰者名奉告

日本雑誌協会理事長

宮原 博昭  
(みやはら・ひろあき)

## 獻 詞

日本出版取次協会副会長

奥村 景一  
(おくむら・けいじ)

「出版平和堂 第五十七回  
出版功労者顕彰会」の開催にあ

たり、我が国の出版文化の礎を  
築き、その発展と繁栄にご尽力  
された諸先輩の御靈に、謹んで  
献詞を捧げます。

出版平和堂は昭和四十四年、

出版関連団体の総意によりこの  
地に建立されました。以来、毎

年秋には多くの関係者が集い、  
先達のご功績を称えるとともに

出版平和堂は昭和四十四年、  
出版関連団体の総意によりこの  
地に建立されました。以来、毎

年秋には多くの関係者が集い、  
先達のご功績を称えるとともに

永続的発展を誓い合つてまいり  
ました。

本日ここに新たに四名の方々  
をお迎えし、第一回より合わせ  
て一二四二名の方々を顕彰する  
こととなりました。参会者一同、  
改めて深甚なる敬意と感謝の意  
を捧げます。

今年は、戦後八十年という歴  
史的な節目の年にあたります。

日本が復興を目指して歩みを進  
めた時代に、先達方は「出版物

が人々の希望の灯となる」との  
信念のもと、傷ついた心に寄り  
添い、尽力されました。

世界に目を轉じれば、今なお  
戦争によって命が失われている  
現実があります。私たちは、先  
達方の高邁なる志と不斷の努力  
を受け継ぎ、日本において薄れ  
つつある戦争の記憶を次代に繋  
ぎ、世界平和を希求し続けなけ  
ればなりません。

文靈 (ふみたま) に  
うつし世の平和いのりつ  
道にはげみし  
人をたたえむ

また、現代において我々は、  
出版平和堂は昭和四十四年、  
出版関連団体の総意によりこの  
地に建立されました。以来、毎

年秋には多くの関係者が集い、  
先達のご功績を称えるとともに

出版平和堂は昭和四十四年、  
出版関連団体の総意によりこの  
地に建立されました。以来、毎

年秋には多くの関係者が集い、  
先達のご功績を称えるとともに

急速な技術革新と価値観の多様  
化の中もあり、出版を取り巻く  
環境は大きく変化し、厳しさを  
増しております。しかしながら、  
出版の本質は不変であり、人と  
人との結び、知と感動を伝える  
営みは、今後も社会にとって不  
可欠なものでございます。我々  
後進は先人の御志を胸に刻み、  
未来に向けて出版文化のさらな  
る発展に尽力してまいります。

ここに出版界の礎を築いてこ  
られた諸先輩方に献詞を捧げ、  
未来への誓いといたします。



# 出版平和堂

この地を訪れ、出版界の歴史や  
思いに触れてみませんか



問い合わせ : 一般財団法人日本出版クラブ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル 5F  
TEL 03(5577)1771 <https://www.shuppan-heiwado.jp/>



## 献 杯

日本書店商業組合連合会会長  
矢幡秀治

(やはた・ひではる)

献杯。

出版業界は今、大きな構造改革の時機を迎えております。私どもは先達が賢明に刻まれた礎を守りつつ、輝かしい未来へと躍進していくことをお誓い申します。

本日、新たに四名の方が出版平和堂にその名を刻まれ、合わせて一二四二名のご芳名が長く後世に伝えられることになります。出版文化と出版界の発展のために、誠心誠意ご尽力されたみなさま方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

千数百年の長きに渡り、人類は出版物とともに歩んできました。それは常に人々の情報の源であり、思索や創造の基盤でした。みなさま方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

加えて生成AIの急激な進歩は、自ら考え、新たなものを創造する、という概念すら変えようとしています。そのような変化の中で、出版物の役割とは何か、私たちは問われているのか



## 感謝のことば

日本書籍出版協会理事長

小野寺優

(おのでら・まさる)

もしまれません。

出版功労者顕彰会は出版界の先達の功績を讃え、感謝するとともに、業界の繁栄を誓い、世界の平和を祈願することを目的として開催されています。しかし世界に目を転じれば、ロシアとウクライナの戦争はすでに三年半を越え、ガザ地区での紛争もまだ予断を許しません。これまで人類が幾度となく経験し、その都度、もう一度と起こそな

本日、この箱根の地において、ご家族・ご関係者ご列席の中、新たに四名の方々を顕彰するにあたり、あらためてその決意を表し、「感謝のことば」を捧げたします。

それでは、ご家族、関係者ならびに本日ご参集の皆さまのご健勝を祈念いたしまして献杯いたします。

いと誓つてきた悲劇が今も各地で繰り返されています。ここ出版平和堂に顕彰されている方々をはじめ、出版界の先達は社会が大きく変わる時代にあっても、出版物の力を信じ、幾多の困難に立ち向かい、出版文化を守つてこられました。今こそ私たち出版人は先達に思いを馳せ、出版物の重要性をあらためて見直し、築かれた礎をさらに強固なものとして未来に継承していかねばなりません。

日本書店商業組合連合会の矢幡でございます。

本日は、第五十七回出版功劳者顕彰会に、ご家族そして関係者の皆さま、ご臨席を賜りまし

て真にありがとうございます。新たに四名の功労者のお名前を出版平和堂に刻みました。出版文化ならびに出版業界の発展に尽力された方々に深く敬意を表し、心より感謝を申し上げま

す。出版業界は今、大きな構造改革の時機を迎えております。私どもは先達が賢明に刻まれた礎を守りつつ、輝かしい未来へと躍進していくことをお誓い申します。





## 閉会のことば

出版平和堂委員長

南條光章  
(なんじょう・みつあき)



閉会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。私は、出版平和堂委員長を仰せつかっております南條光章であります。

本日は「出版平和堂 第五十七回 出版功労者顕彰会」に多くの方々にお越しいただきまして、顕彰会が盛会に挙行できましたこと、厚く御礼申し上げます。

出版平和堂委員会は、副委員長に風間敬子さん、吉野和浩さん、司会進行をお務めいただいたこと、これまで本日は穏やかな天気のと、また、自動車、バス利用におきましては高速道路の集中工事の影響が心配されました。これまで本日は穏やかな天気のと、また、自動車、バス利用におきましては高速道路の集中工事の影響が心配されました。

閉会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

私は、出版平和堂委員長を仰せつかっております南條光章であります。

十月に入り朝晩はめっきり涼しくなっており、秋の訪れが一気にきてしまつた感じさえいたします。そのような季節の中、月末での開催となり、寒気をやや心配いたしましたが、おかげさまで本日は穏やかな天気のと、また、自動車、バス利用におきましては高速道路の集中工事の影響が心配されました。

本日は、四名の方々が顕彰されました。それぞれ各業界を代表され、ご尽力された方々ばかりです。改めまして、顕彰された方々の出版業界へのご功績に感謝申し上げます。

さて、ここ数年、平和堂周辺の維持、管理には以前にも増して、整備が必要になつてきています。気候変動に伴う影響等からか、動物による被害や植物の伐採等、整備に手間と時間がかかるようになつています。ただ、今年はそうした被害や整備に関する影響がほとんどなかつたと聞いておりまして、一安心したところで整備等に関しましては、日頃から維持、管理をしていただいております。管理人の大澤さんとのご協力に感謝申し上げます。とは申しましても、

ております千倉成示さんとともに各業界団体の委員の皆さんにも加わっていただき委員会活動を行っております。

が、大きな影響もなく予定通りに開催できまして、安堵いたしました。

多くの皆さまのご来会に感謝申し上げますとともに、お気をつけてお帰り頂きますようお願い申し上げまして、閉会のことばといたします。

本日は誠にありがとうございました。

。



## 出版記念会

喜びを分かち合える出版人のホールでお祝いの会を。

★会報「出版クラブだより」にてご紹介して、祝賀申しあげます。

●ご予約・お問い合わせ

出版クラブホール



## 受賞祝賀会

受賞の栄誉に輝く喜びを祝賀する集いに、出版クラブホールを。

★ご案内状の作成、印刷、宛名書き、贈呈記念品、花束など、お手伝いのむきもお申しつけ下さい。

Tel 03(5577)1511 千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル

今後も現状を維持していくためには、資金の確保が必要になります。資金に関する協力・運営団体としまして、出版平和堂を今後も維持・管理していくため、出版平和堂維持会へのご支援、ご協力ををお願い申し上げる次第です。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

また、出版平和堂維持会へのご支援、ご協力ををお願い申し上げる次第です。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

また、出版平和堂維持会へのご支援、ご協力ををお願い申し上げる次第です。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

2025年度出版平和堂維持会にご協賛いただいた方々  
(2025年11月15日現在)〈敬称略・五十音順〉

愛知県教科用図書卸商業協同組合  
（法人）

建帛社  
恒星社厚生閣  
佼成出版社

平井書店 福岡県教科図書  
富士経済グループ本社 文英堂  
文藝春秋 文理  
平凡社 ベースボール・マガジン社

以上135社

神奈川県教科書販売  
教育芸術社

少年画報社	新興出版社啓林館	新生紙パルプ商事	新潮社
星雲社	青春出版社		
誠文堂新光社	世界思想社教学社	世界文化ホールデ	
創元社	增進堂・受験研究		
第一学習社			
大修館書店			

日本スポーツ企画出版社  
日本文教出版  
白水社  
白桃書房  
博文館新社  
長谷川書店  
ひかりのくに

阿部敬子 石川久美子 安部悟  
及川清 上野彰久 越前信子  
岡田婦美子 岩波力 大竹公子  
大坪嘉春 大高靜子 岩田嘉春  
奥川 隆

# ひとりひとりが「生きる」みんなの世界 —ジエンダーと読書—展を開催

さる11月4日～29日まで、出版クラブビル3階のライブラリートーに「ジエンダーと読書」を開催されました。

「ジエンダーと読書」を主題にした展示は、じつは3回目。2023年「男らしさ」（女性）から自由になるための言葉「ジエンダー」を知るはじめの一歩、2024年「私たちの『思い込み』に気付く本棚（ジエンダーと読書）」と回を重ねています。

今年は、全国の目利きの書店員さん20名による選書60冊を中心に、ブックディレクター・幅允孝さんやライブラリー委員

による選書を合わせ、およそ100冊を展示しました。タイミングよく、一般社団法人日本書籍出版協会「ジエンダー委員会」が制作した小冊子「ジエンダーはじめての一歩 ガイドブック55」（非売品）が9月に出来上がっていましたので、下中美都ライブラリー委員長のご差配により、会場に展示できました。

初日夕刻からは、幅さんと書店員さん、著者さん、編集者さんの交流会が、成瀬雅人ライブリーアイアントのご挨拶で開催され、今後の展開に資するなごやかで有意義な場となりました。実現のためにご尽力くださいま

ジエンダーはじめての一歩  
ガイドブック55

第一回目入日本書籍出版協会  
ジエンダー委員会編



下記のQRコードから「ジエンダーを知る本リスト」が閲覧できる



## 参加書店員リスト（敬称略）五十音順）

東京大学生協 駒場書籍部

くまざわ書店 八王子店

ジュンク堂書店 池袋本店

青山ブックセンター本店

twilight

大垣書店 高野店

三省堂書店 神保町本店

マルジナリア書店 by よはく舎

東京大学生協 本郷書籍部

元・清風堂書店

有隣堂 店売事業部（イベントチーム）

恵文社一乗寺店

紀伊国屋書店 新宿本店

ときわ書房 志津ステーションビル店

ブックファースト 新宿店

MARUZEN & ジュンク堂書店 梅田店

啓文社ポートプラザ店

東京堂書店 神田神保町店

代官山 蔦屋書店

京都大学生協 ブックセンターネ

足立裕太  
磯前大地  
井手ゆみこ  
神園智也  
熊谷充紘  
倉津拓也  
織織望  
小林えみ  
佐藤直子  
谷垣大河

名智理  
原口輪佳  
東二町順也  
日野剛広  
広野陽子  
福嶋聰  
藤川学  
三浦亮太  
宮台由美子  
山下貴史

題したワークショップを、翌10日夜には「スマホを置いて、ただ本を読む」至福の時間」ということができた、と大変好評でした。読書会につきましては、神保町にある出版クラブらしい活動として、今後も回を重ね、ゆっくりじっくり育てていきたと考えております。

ライブラリーと日本出版クラブの活動について知つていただきために、千代田区男女共同参画センターとの相互交流により、サイトやSNSでの情報拡散や、神保町マップに注目ポイントとしてライブラリーを掲載していただきました。他にも上智大学、日本大学、法政大学などにチラシを置いていただく、小学館、講談社の媒体への掲載など、PRにつとめました。

クラブのサイト上には特設ページを作成。展示了全書目をテーマ別、もしくは一覧としてダウンロードしたり、プリントしたりすることができます。各書籍の書影リンクからは、一般社団法人日本出版インフラセンターの「出版書誌データベース」の当該ページに飛ぶことで購買導線にもつながることができます。

上記QRコードより特設サイトへ。テーマ別のご覧いただけます。

ご意見、ご感想、アイディアなどございましたら、ぜひ事務局までお伝えくださいますよう

た。ぜひいちどご覧ください。クラブでは、ライブラリーを本を手に取つて読めて、訪れる方々がくつろげる場所にする計画を少しづつ進めております。

ご意見、ご感想、アイディアなどございましたら、ぜひ事務局までお伝えくださいますよう

よろしくお願いいたします。



イベント参加者が制作した「分かりあえないけど分かち合える世界」を表現した作品をロビー受付下に展示した

行され、「SNS時代の取材・報道とは—戦後80年、揺らぐメディアの信頼」と題し、齊藤也氏（テレビ東京報道局総合ニュースセンター）を司会に、西プロデューサー田亮介氏（日本大学危機管理学部教授）、山口真一氏（国際大

福井での開催は2007年の第51回大会以来、18年ぶり。昨年3月に北陸新幹線が敦賀まで延伸し、東京から3時間弱、福井駅前では実物大の動くティラノサウルスなどの恐竜像が出現してくれた。

マスコミ倫理懇談会全国協議会（以下、マス倫懇）の第67回全国大会が10月9日、10日の2日間、「戦後80年の分岐点—メディアは民主主義を支えきれるか」をテーマに、福井市内のフニックスプラザで開催され、エニックスアソシエイテッド関係者約280人、出版社からはオンラインも含めて約40人、出版クラブ震災対策室のメンバーも参加した。

学グローバル・コミュニケーション・センター准教授、米重克洋氏（JX通信社代表取締役）がディスカッションを行った。米重氏は先の参院選に関する詳細な分析を元に、特に若年層・現役世代で従来の支持構造に変化が見られる点などを報

# マス倫懇”全国協議会 第67回全国大会報告

新妻 真中 (日本雑誌協会)

自己分析 改善が行われなか  
た結果、テレビ、新聞離れが進  
んだと指摘。信頼されなくな  
ったメディアのファクトチェック  
の意味にも言及した。

その後、マス倫理の新規フレームとして「記者活動における誹謗・中傷への制度的・法的対応および支援策の検討」について澤康臣氏（早稲田大学教育・総合科学学院教授）が報告。ネット上での記者への攻撃

により、ある種の報道を避け、  
ような厭戦ムードが生まれつ  
ある現状を踏まえ、法的支援  
必要性を訴えた。

午後はA～Eの5つの分科会に分かれて討議が進められた。各分科会のテーマは以下の通り。

- A .. 真に必要な災害報道と  
B .. SNS時代の選挙報道
- C .. 言論空間におけるステ  
グマを考える
- D .. 記者活動に対する誹謗  
中傷への対応

E.. メディアはA-Iを使いつなせるのか 中傷への対応



出版クラブビル全テナントによる  
消防避難訓練が行われる

2025年11月6日(木) 午前10時30

ト参加による消防避難訓練が行われた。来館者の避難誘導を優先したのち、参加者全員、2カ所の避難経路から1階駐車場に集合し、点呼で無事を確認したのち、消火器操作の実地訓練を行った。3FホールではAED（自動体外式除細動器）操作説明と実際の操作を体験し、改めて防災意識を高める1日となつた。

智彦氏が「ヤクザへの人権制限の本質とは」について講演した。齋藤座長が「一方的に規定された『正しい規範』は『正しい』のか、「書くこと』だけでなく、「書かないこと』にも責任と意義があり、多面的に検討すべき」と語るようすに、新聞報道などで触れられるこのない出版な

決議された大会申し合わせは「私たちは（中略）民主主義社会の基盤を支える存在であり続ける」と結ばれるが、今後も出版ならではの問題意識を提起し続けることの重要性を再認識した大会となつた。来年は11月に広島市で開催さ  
れる。

らではの内容だった。  
齋藤座長は2日目の全体会報  
告でも地元福井新聞が報じた  
「全国の新聞社や放送局などが  
集まり意見交換する」大会とい  
う記事に触れ、「出版が『など』  
に含まれてしまっているが、分  
科会Cは、この『など』に括ら  
れてしまふ人たちに寄り添つて  
話をすべきではないか、といふ  
ことからスタートしている」と  
述べて困惑を示す。

らではの内容だった

齋藤座長は2日目の全体会報  
告でも地元福井新聞が報じた  
「全国の新聞社や放送局などが

このうち、斎藤英彰氏（双葉社・編集総務部副部長）が座長として登壇した分科会Cでは、

# 出版歳時記

之  
教育評論社→阿部黄瀬→秋田雅  
之  
富士経済グループ本社→田中一  
伸一  
志→秋田雅之  
文化出版局→秋元雅則→櫛下町  
出版クラブ維持員動静  
△代表者変更  
△住所変更  
△出版企業年金基金  
中部嘉人  
一迅社→野内雅宏→嘉悦正明  
主婦と生活社→中野坂上  
都台東区柳橋1-23-6  
東京  
双葉社→戸塚源久→梓沢雅治  
第一学習社→松本洋介→松本駿  
文書院

▽秋の読書関連イベントも一段落だが、今年はまず、横浜みなとみらいで10月22日から24日まで開催された図書館総合展に参加した。  
▽図書館総合展は図書館をテーマとする国内最大級のイベントで、図書館関連企業・団体、出版社、学校などが出展して、各種講演やワークショップも行われ、大変参考になる。しかし今年は展示ブースがだいぶ少なくなった印象を受けた。出版社はごく少数、大学関係も学生のサークルは多数見られるものの、学校挙げての参加はほとんどなし。関連企業・団体は見慣れたところばかりで新鮮味はなかった。  
▽昨今減り続ける出版物販売額や街の書店をどうにかしなければと、いくつかの議員連盟ができ、経産省や文科省、文化庁等々が具体的対策を提案してきているが、その中心は「出版関連業界・団体はも

つと連携して読書推進を図ろう」である。

▽にもかかわらず、各団体は相変わらず別々に展示会を開催している感がある。図書館総合展もそうだが、出版社は度々展示会を開いているし、書店組合主導の大商談会、神保町等に見ら

れるブックフェア、あえて言うならコミケや文芸フリマ等々。もっと連携してもいいのではと思う。開催規模は大きくなるし、

## もつと連携を！

△11月の2日・3日は、甲府駅南口を中心に行われた、やまなみ読書活動促進事業（通称…やまみ読の「YAMADOKU BOOK FEST 2025」）。この活動は、山梨県立図書館を中心に、地元書店、学校、取次、出版社、県外応援者が力を合わせて行つてゐるもの。私が知る限り「日本一の業界連携活動」である。

△出店コストも下がり、より幅広い交流が可能になるはずだ。

△今年も見事な展開であった南口を中心に行われた、やまなみ読書活動促進事業（通称…やまみ読の「YAMADOKU BOOK FEST 2025」）。

△この活動は、山梨県立図書館を中心に、地元書店、学校、取次、出版社、県外応援者が力を合わせて行つてゐるもの。私が知る限り「日本一の業界連携活動」である。

△仕組みを作り上げ、今日当に至つては、サイン会終了後は場所を移動して作家と地元ワインを飲む会を開催する（有料…運営と会計は書店が担当）。

△贈呈式は、公益社団法人読書推進運動協議会・野間省伸会長の挨拶のあと、選考委員である

田美津子さん（大阪府）が受賞された。

△黒木義博氏（公益社団法人全国学校図書館協議会読書活動振興プロジェクト担当）による選考

△黒木義博氏（公益社団法人全国学校図書館協議会読書活動振興プロジェクト担当）による選考の経過報告が行われた。続いて賞

## 第55回野間読書推進賞贈呈式が開催される

2025年11月7日（金）午前11時より、千代田区神田神保町の出版クラブホールにて、第55回野間読書推進賞贈呈式が開催された。

同賞は地域や職域において、読書の普及に多年尽力し、読書推進運動に貢献された団体または個人を顕彰するものである。今回は、団体の部として公益財団法人ふきのとう文庫（北海道）、個人の部として岩田美津子さん（大阪府）が受賞された。

贈呈式は、

贈呈式は、